

祝 教育会館60周年 平和と教育文化の発展を願い出発



2024年元旦に発生した能登半島を震源とする最大震度7(マグニチュード7.6)の地震は、石川県、富山県、新潟県に甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、ご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、被災地域のみなさまの安全の確保と早期の復興を心よりお祈りいたします。

さて、2024年、教育会館は設立60周年を迎えます。

1963年8月、上町に教育会館が建設され、1964年4月から財団法人横須賀教育会館としてスタートしました。2001年12月、日の出町に新教育会館が建設され、2002年1月から財団法人横須賀三浦教育会館として再スタートしました。2010年12月には公益財団法人に認可され、公益財団法人横須賀三浦教育会館となり、今日に至っています。

当会館には三浦半島地区教職員組合・三浦半島地区学校管理職組合協議会(横須賀市立学校管理職組合)・横須賀市PTA協議会・横須賀市私立幼稚園協会の事務所が置かれ、三浦半島地区教育文化研究所も設置されています。それぞれの団体は、会館を拠点に子どもの幸せを求めて活動をすすめています。

2004年からスタートした「教育会館ふれあいコンサート」は、今年20周年を迎えます。コンサートは、身近で演奏者とふれあい気軽に市民が生音楽を楽しむ場となっています。そのほかの公益事業も「サロンコンサート」「サークル活動」「教養セミナー」、子ども中心の「感性を育てるファミリーコンサート」「自由に作品を創造し楽しむおやこdeアート」「面白実験の科学工作教室」「子どもを魅了するサイエンスショー」などますます充実してきております。

この教育会館設立60周年を機に、今後の公益事業をより充実させ、市民に親しまれる教育会館をめざして行きたいと思っております。

上記の能登半島地震については教育会館として被災者支援カンパを1月から3月にかけて実施します。支援金は日本赤十字社に届けます。

能登半島地震被災者支援カンパにご協力をお願いします